

一般社団法人 新潟県中小企業家同友会

# DO YOU KNOW? にいがた



December 2023  
Vol.429

# 12

よい会社、よい経営者、よい経営環境を目指す



## 健康の悩みを 私の手で救いたい

【若石リフレクソロジーさんぽみち】  
上野 めぐみ 氏 新発田支部

自分のできることで  
貢献したいという想い

## PROFILE

上野 めぐみさん

若石リフレクソロジーさんぼみち

開業して4年が経った頃、出産と育児で仕事ができなくなりました。その間にお客さんは離れてしまい、仕事復帰後は苦勞しました。お客さんの提案をきっかけに全体の資格

### 仕事と同友会

「誰かのために何がしたい」という想いで新発田の自宅でスタートした足もみのお仕事。近所の方の口コミから徐々にお客さんも増えていきます。顔面麻痺で医者には治らないといわれ悩んでいたおばあちゃんが、足しげく通ってくれ、3カ月経った頃から少しずつ麻痺が取れていき、5カ月で完治しました。ご本人も周りの方も本当に喜んでくれ、お客さんが健康になっていくことがとてもうれしく思えました。

「誰かのために何がしたい」という想いで新発田の自宅でスタートした足もみのお仕事。近所の方の口コミから徐々にお客さんも増えていきます。顔面麻痺で医者には治らないといわれ悩んでいたおばあちゃんが、足しげく通ってくれ、3カ月経った頃から少しずつ麻痺が取れていき、5カ月で完治しました。ご本人も周りの方も本当に喜んでくれ、お客さんが健康になっていくことがとてもうれしく思えました。

私が若石リフレクソロジーに出会ったのは30代初めの頃でした。20代半ばからうつ病となり、継続的な就労もできず、様々な医療技術に頼りましたが改善には至りませんでした。そんな中、東京の叔母から「足もみがいい」と知り合いの先生を紹介してもらい、東京で治療に通うことになりました。叔母の家に住み込み、少しずつアルバイトをしながら心療内科と先生のお店(サロン)に通っていると、今まで何をしてもいまいちだった症状が3か月で改善しました。

### 起業への道



- ① 施術ルーム
- ② 新設したフットバス
- ③ 施術の様子



も取りたいと思いましたが、先生から「教えない」ときつぱり。それでもお願いしますと頭を下げ続け、7年ほどかけて全体の資格も取得し、メニューを変え以前のお客さんをサルベージ。イベントに参加して認知度を上げるなど走り回り、今年の夏くらいから以前の仕事量に戻すことができました。

同友会を紹介されたのは2022年のこと。地域のお兄さんのような存在の新井田さん(株)新井田塗装店 代表取締役)から「入ったほうがいいよ」と誘われ、新井田さんが言うなら間違いない!とすぐに入会しました。例会に参加するとみんな前向きで楽しく、刺激をずっともらっています。

また、新井田さんが指針を受講後会社ががらりと変わったこと、家族でとても仲良くしてもらっている小形義晴さん(株)小形工務店 代表取締役)が指針を受講後にすごく変わったことを見て、私自身も経営指針成文化と実践の会の受講を考えています。残念ながら今年の受講は締め切っていたタイミングでしたが、来年は必ず受講したいです。

### 未来と私にできること

現在は、健康靴の専門店さんと繋がり、そこから勉強し販売の資格を取得し、足の健康から健康用のCSソックスやリセットシューズの販売を開始しました。「足元を整え、100歳まで歩ける足づくり」を目標にその方に合わせた靴をお作りしています。また、大阪では男女ともに不妊治療に足もみをするクリニックもあり、そういうところで勉強し、不妊治療や産後のケアにも力を入れていきたいと思っています。他にも、地域の課題にも取り組みたいと思っており、何よりも子供たちがのび

のびと生活ができる地域にしていきたいと思っています。

学びを実践し続け、またそれを広く知ってもらい、自分にできることで、私の核となっている「自分にできることで貢献したい」ということを行っていききたいと考えています。

※リフレクソロジーとは  
リフレクソロジーとは、日本語で「反射学・反射療法」と表現される。手や足・顔にある反射区と呼ばれる部分を指の動きでやさしく刺激することで、リラックスを促すとともに心身のバランスを整え、健康維持に役立つ繊細な技術のこと。若石健康法は台湾にルーツがあり、世界三大リフレクソロジーの1つと呼ばれ、西洋リフレクソロジーをベースに東洋医学の理論を取り入れた国際的なリフレクソロジーとされている。



### 若石リフレクソロジーさんぽみち

会員：上野 めぐみ 氏(新発田支部)  
事業内容：整体、足もみ  
住所：新発田市稲荷岡849  
TEL：090-1215-0576  
創業：2019年

# 委員会・部会活動報告

## 経営労働委員会



### 経営指針成文化と 実践へ向けてさらに高みへ!

同友会1丁目1番地とされる経営指針—経営指針書をもとに全社一丸で経営をし、理念、ビジョンの実現へ向けて、今年度も9月より第7期経営指針成文化と実践の会が開催されており、今回は13人の受講生と64人のサポーターからなる総勢77人で6か月かけて、魂のこもったセッションが4会場に分かれて開催されておりです!

「何のために経営をするのか」「労使見解」と経営指針を理解し参加者相互の経営者としての資質の向上に向けた研鑽を基本としています。

今年はどうなドラマがあるのか?どんな経営者を目指し、会社で実践するのか?自身との向き合い、想いを言語化し、全社員と共に歩む経営指針書を創りあげていきます。

自身の会社に経営理念、10年ビジョン、経営指針書をお持ちでない方は、来期の受講をご検討いただければ幸いです。ここには本気で相談にのってくれる先輩経営者がたくさんいます。共に学びあい良い会社を目指しましょう!

経営労働委員会 副委員長 山貝誠記

## 政策委員会



年次	議題	議決	経過
1	地方再生と人口減少問題への対応	議決	1
2	地方再生と人口減少問題への対応	議決	2
3	地方再生と人口減少問題への対応	議決	3
4	地方再生と人口減少問題への対応	議決	4
5	地方再生と人口減少問題への対応	議決	5
6	地方再生と人口減少問題への対応	議決	6
7	地方再生と人口減少問題への対応	議決	7
8	地方再生と人口減少問題への対応	議決	8
9	地方再生と人口減少問題への対応	議決	9
10	地方再生と人口減少問題への対応	議決	10

### 一人、自社だけでは 解決できない課題を政策委員会で 共に取り組みましょう!

10月に実施した景況調査にご協力いただきありがとうございました。

景況調査で集まったデータは、県内企業の景況動向から自社の経営判断の材料に使っていただいたり、新潟県の中小企業の現状を分析し市議や県議との懇談の際に使ったり、調査結果を根拠とした行政への政策提言に使ったり、多岐に渡って活用されます。この活動を継続し発信することで、会員増強や会外との信頼関係構築にもつながると考えています。

また、景況調査を行う上で大切なのは、継続して実施することです。2024年度からは、4月(10月~3月期)と10月(4月~9月期)の年2回実施し、年間を通して半期ずつの景況を調査し、データを蓄積し活用します。今後も景況調査を継続し、コンスタントに会の半数以上のデータが集められるよう働きかけていきます。

日々の経営課題の中には、どうしても自力で解決できない課題もあります。こういった人ではどうにもできない問題に対して、力を合わせ変えていくのが政策委員会です。委員会の一連の活動はきつと経営課題に欠かすことのできない時流を読む洞察力を養います。「よい経営環境」をつくる最前線とも言える政策委員会に参加し、力を貸してください。

政策委員会事務局 鈴木健太記

新潟県中小企業家同友会には5つの委員会・4つの部会があり、希望する会員は委員会・部会にいくつでも入ることが出来ます。合計9つの委員会部会は経営の課題ごとに分かれており、それぞれのテーマを専門的に学び、問題を解決していくところです。現場に直結した専門分野を深く学び、経営課題を解決するために共に学ぶ活動を行っています。



## 青年部会

学び方を学び  
さらなる組織力向上を!

青年部会に所属している新潟支部イスト地区の齋藤です。

End Upチームは10月26日に「人間性」を大テーマにした例会を開催しました。当チームは「学び方を学ぶ」ことを重視し活動しています。青年部会各チームの活動が盛んである一方で、全体としてのつながりが弱く、役員以外の会員や新入会員が神田部会長についてどれだけ知っているか、人柄や経営哲学をどれだけ理解しているかという点を課題と捉え、部長報告例会を実施し、組織全体の結束を高め、組織力向上を図ることを目指しました。

4月に行われた新潟支部と合同開催のIOW to例会を経て、学びの基本である例会についての理解を深め、今回の例会は実践の場として三条支部と合同で「こんな板金屋があってもいいじゃないっつよくやさしく 美しく掲げる神田板金の経営哲学」を開催しました。グループ討論では「自責」と「他責」に焦点を当て、それぞれの立場から熱い討論が展開されました。

今回の例会は、私自身大きな学びの機会となり実践への意欲がさらに高まる場となりました。

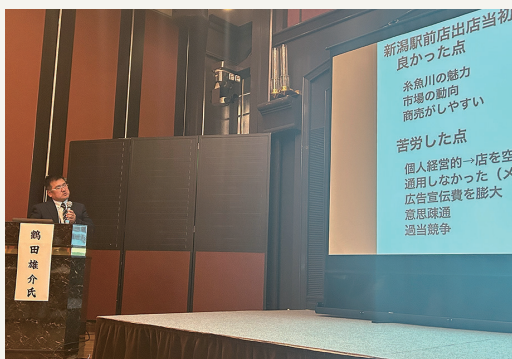
これからも共に成長し協力し合いながら、より良い未来へ向けて進んで行きたいと思っています！

青年部会 End Upチームリーダー

齋藤孝浩 記

## 食部会

報告者 鶴田さん



当日の様子

フォーラム第2分科会へのご参加ありがとうございました!

食部会「食ですが、コロナ過が明けると言うのに今年の異常気象で過去に類を見ないほどのダメージを受けています。そんな食環境ではあります。食部会として11月22日の経営フォーラム第2分科会へ食部会の笑顔番町『つるまる』鶴田氏が初の分科会報告を行います。初の報告がフォーラムとつるまステーションでコロナ過、食材の高騰と言う飲食業界はマイナス環境の中、新潟駅前という激戦区でコロナ前を上回る売り上げを上げている鶴田氏の報告に今からワクワクが止まりません！

そんな分科会設置に中々普段の例会には参加が叶わないメンバーとも関わることで同友会とは学びとはを深めています。この報告が紙面になるには「良い分科会だったね」「自分からも頑張ろう」と取り組んでいる時期と思います。

また9月27日、28日は下越南支部との合同例会で岩手同友会リアス支部への移動例会へも行ってきました。昨年に引き続きの岩手県、陸前高田市でしたがまたしても心を揺さぶられる学びを体感してきました。移動例会で得られる参加者同士の絆の深まりも感じました。今期も残りわずかになってきましたが県外視察や例会運営を行っていますので大勢の皆さんも是非食部会活動にご参加ください。

食部会会長 宮崎伸洋 記

## 《新入会員紹介》

入会おめでとうございます。新しく入会された会員を紹介します。》

①役職 ②業務内容 ③支部 ④入会日 ⑤紹介者



よこやま なおこ  
**横山 直子**

(株)横山銅鉄店

- ①取締役
- ②産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物中間処理業
- ③長岡支部
- ④2023年8月9日 入会
- ⑤引地豊

長岡支部に入会しました株式会社横山銅鉄店の横山直子です。長岡市で鉄・非鉄スクラップ業を営んでおります。経営を学びたいと思っていたところ、同友会の存在を知りました。経営のこと等、相談させていただくと思いますがどうぞ宜しくお願いいたします。



さいとう ゆういち  
**齋藤 雄一**

(有)ファミリーオートサイトウ

- ①代表取締役
- ②自動車販売・自動車整備・板金・保険
- ③村上支部
- ④2023年8月11日 入会
- ⑤三田敏志

村上支部に入会しました有限会社ファミリーオートサイトウの齋藤雄一と申します。村上市朝日地区で車の販売、整備、钣金、自動車保険を業務に運営しております。多くの方々と交流できることを楽しみにしております。どうか宜しくお願いします。



こんどう ようへい  
**近藤 洋平**

(株)近藤製作所

- ①専務取締役
- ②木製建具・ユニットドア製品施工、オーダーメイド建具制作
- ③新潟支部ウエスト地区
- ④2023年8月18日 入会
- ⑤木村譲

新潟支部ウエスト地区に入会しました、株式会社近藤製作所の近藤洋平です。西区青山にて木製建具の製作・施工を行っています。私自身経営のことを全くわからないので、諸先輩方の経験や知見を基に勉強させていただければと思います。よろしく宜しくお願いいたします！



くまくら ひでき  
**熊倉 英樹**

(株)サンカムイ

- ①代表取締役
- ②各種金属加工品等の企画、製造、販売及び仲介業務
- ③燕支部
- ④2023年8月25日 入会
- ⑤渡邊真和

燕支部に入会させて頂きました、株式会社サンカムイの熊倉英樹と申します。ものづくりの盛んな燕三条地域に拠点を置き、お客様のニーズに合った製品加工の『とりまとめ役』として、お客様のビジネスをサポートいたしております。よろしく宜しくお願いいたします。



えんどう たかひろ  
**遠藤 隆宏**

(株)Certo

- ①代表取締役
- ②障害福祉事業
- ③上越支部
- ④2023年8月28日 入会
- ⑤事務局

上越支部に入会しました、株式会社Certo(チェルト)の遠藤隆宏です。上越市にて、児童発達支援・放課後等ディサービスを営んでおります。まだまだ例会などには参加できておりませんが、お会いした際はよろしく宜しくお願いいたします。



ほんま さとし  
**本間 聡**

(株)エヌエスケイ

- ①代表取締役
- ②事務機器の卸売業
- ③新潟支部イースト地区
- ④2023年9月208日 入会
- ⑤中川恒太郎

新潟支部イースト地区所属、株式会社エヌエスケイの本間と申します。弊社は新潟市内を中心に、オフィス家具・OA機器・事務用品等の卸売業を営んでおります。昨年10月から代表職に就き改めて「経営」の重み・責任を実感し、新たな学び・出会い・変化を求めて入会させていただくこととなりました。どうぞ宜しくお願いいたします



今井さん(左)と篠田さん(右)

私とお話しませんか?

# 会員交流の館

会員が『今一番会いたい、話を聞きたい会員』を訪問するコーナー。

今月は9月号に登場の今井慶貴さん  
(一新総合法律事務所 新潟支部)が  
篠田陽一郎さん(アルンレア法律事務所 新潟支部)へ  
訪問の様子をお届けします。

vol.6

**今井**…まずは先生の経歴についてお話をお話したいのですが、新潟の出身で新潟高校卒業ですね。

**篠田**…はい。明治大学で政治経済学を学びトーマンという総合商社(現在の豊田通商)に就職し約5年化学品の営業をしました。当時ロースクールが始まった頃で、何か世界でも使っていける知識を身につけたいと思い神戸大学を経て司法試験に合格し弁護士になりました。新潟に戻り新潟第一法律事務所(現在は新総合法律事務所)に就職し4年ほど法律家として勤務しましたが、弁護士の国際協力という仕事に出会いカンボジアの王立法律経済大学にある名古屋大学の日本法教育研究センターでカンボジア人の学生に対して日本の法律を



教える仕事を2年間、国際協力機構JICAで、裁判官や弁護士に対してカンボジアの民法と民事訴訟法をどう使えばいいのかということをお教えたり、一緒に考えたりする仕事を4年間、トータルで6年カンボジアにいました。

**今井**…それで日本に戻ってきた新潟で法律事務所をされたわけですね。

**篠田**…2020年3月に任期が切れて帰国し4月に事務所を開設しました。社名の「アルンレア」はクメール語で朝日とか暁とか日の出という太陽が昇っていく様子のごとで、日本では「ばん唯一」のクメール語の事務所です。困っている人にとっても明けない夜はないんだという意味を込めています。

**今井**…特徴的な分野はありますか？

**篠田**…労働事件に関係するんですけども、外国人の技能実習生とか、特定技能や外国人材関係の仕事をやっています。社労士登録もしているんで、違反を防ぐ取り組みに力を入れています。

**今井**…同友会の会員が外国人材を採用してみたいという場合はどうすればよいですか？

**篠田**…自社でどういったニーズがあって、どういった形で外国人材に働いてもらいたいと考えているかで選択肢も異なってきます。まずは管理団体という組合に外国人技能実習生を受け入れる相談してみてください。

**今井**…ほかに申請のお手伝いもされていますね。弁護士でそういうところに関わる人は少

ないと思いますけど力を入れていらっしゃいますか？

**篠田**…はい、中小企業庁などが出している補助金で事業再構築補助金や企業承継、跡継ぎの補助金・ものづくり補助金などがありまして、そういった申請のサポートも出来ます。今後積極的に関わっていきたいと思いますし、それをきっかけに顧問をさせてもらえるのであればお願いしたいと思っています。コンサルタントではなく顧問として、その計画の実行に並走していくことが大事だと思っています。

**今井**…次の話題で、県中小企業企業家同友会に入られたのはいつ頃でしたでしょうか。

**篠田**…事務所を作った年ですから、3年くらい前だと思います。(株)西部商会の木村由美さん(新潟支部)に紹介してもらい入会しました。例会にも参加して今年までは青年部にも在籍していました。趣味でゴルフをしていて支部コンペにも何度か参加したことがあります。やはり弁護士業をメインでやっていて経営者の目線があまりない。それを中小企業家同友会で勉強できるので、すごく良い機会だなと思っています。今後も積極的に参加していきたいと思っていますので例会でお会いしましょう。

## 対談者

弁護士法人 一新総合法律事務所  
代表社員 副理事長  
新潟事務所 所長  
今井 慶貴  
(新潟支部セントラル地区)

訪問企業：アルンレア法律事務所  
弁護士：篠田 陽一郎氏(新潟支部セントラル地区)  
社歴：2020年4月創業  
住 所：新潟市中央区上大川前通4番町112番 2階B号室

例会や行事の報告など、情報共有の場としてフリーテーマで同友会の情報を発信します。

## 障害者問題全国交流会2023 in愛知 参加レポート



10月19日・20日(木・金)に愛知県名古屋市内にて開催された第22回障害者問題全国交流会。新潟同友会から参加した2名の方の参加レポートを掲載します。同友会の全国行事にはこのような専門委員会に特化した全国大会もあります。ぜひ自社の課題に合う全国大会の開催時には、ご参加をご検討いただき、全国の同じ課題を持つ近い課題を乗り越えた経営者と交流にご参加ください。

(株)With You

代表取締役 小林 俊介 氏

(柏崎支部)

実は福祉業界(特に就労支援事業)において注目されているブレイヤーの多くは同友会の会員として、今回も久しぶりの方やリアルでは初対面の方を含めて、良い出会いがたくさんでした。

参加した第5分科会では、報告事例を踏まえて自社に持ち帰ることを考えるというよりも、同友会として『障害者問題』についての運動をどう考えるかというようなテーマで議論がなされました。

ある意味ニッチで、ボランティアなどと考えられがちなこの委員会・部会の運動

をどのようにして広めていくのか。

名称を変更している県もたくさんありましたが、『名称変更によって本質が見失われないか?』や『質を担保するためにも量が必要だからまずは堅苦しい名称を変更して多くの企業に参画してもらう』など、様々な意見が出ました。

最終的な着地として多くのグループから発表されたことに『障害者問題』があること自体が問題なので、極論を言うならこの委員会・部会がなくなることで障害者を含む多様な人を活躍させていく事は、わざわざ委員会や部会を設置しなくても企業であれば当たり前のことにならざるが理想であり、その為にはやはり様々な業種からステークホルダーとなる人に興味や関わりを持ってもらうことが重要だろうという趣旨でまとまりました。

最後に、開催地の愛知や次回開催地の青森の熱量は確かに凄くて、素晴らしい事例ばかりでした。が、新潟も負けていないと思っ

ます。製造業や農業など豊富な産業があり

全国に誇れる事例を増やし、気運を高め、いつかは障全交の新潟開催もしたいと思えました。

ぜひソーシャルビジネス部会にご注目下さいー!

社労士事務所 コモンズ

代表 内山 雅視 氏

(新潟支部サウス地区)

小林部会長とともに、障全交in愛知に参加して参りました。コロナ禍もあって、久しぶりの現地参加となり、全国の仲間から強い刺激をいただきました。

分科会は、各県同友会の障害者問題を扱う委員会のパネルディスカッションに参加しました。パネルに、神奈川同友会、広島同友会、愛知同友会の方から各地の取り組みについて報告がありました。

とりわけ印象に残っているのは、神奈川同友会の取り組みです。100名ほどの部会員がいて、例会や広報など担当を決めて組織的に活動していることが紹介されました。新潟同友会でも主体的にかかわる仲間を増やしていきたいと、強く思いました。

また、障全交に参加して、「人を生かす経営を真正面から考える部会が、障害者問題を扱う部会である」ということを改めて認識することができました。ソーシャルビジネス部会も、特定の分野のみを扱う部会ではなく、会員の皆さんが誰も関わっている問題を扱う部会として広く知っていただくことが必要だと感じました。

次回2年後の青森障全交は、多くの仲間とともに参加したいと思えます!

## DO YOU KNOW? にいがた

2023年12月1日号

一般社団法人 新潟県中小企業家同友会  
広報情報化委員会

住所：〒950-0901 新潟市中央区弁天1丁目1-16 サンテラス石宮2-A

TEL：025-288-1225 FAX：025-288-1226

E-mail：info@niigatadoyu.jp

HP：https://www.niigatadoyu.jp/

頒価250円(年間3,000円・送料別) 会員の購読料は会費に含まれます。

## 編集後記

もう…12月なんです…。年11回作成される広報誌。特別号を除き、表紙と特集は委員会メンバーが会員さんを訪問し、会社のこと、ご自身のこと、ご家族のこと、社員さんのことを根掘り葉掘りお聞きして、それをぎゅうううつと凝縮したものが広報誌の文章になります。この訪問の際、広報誌には書ききれないストーリーがたくさんあります。今、経営で悩んでいること、「少しでも色んな経営者の話を聞きたい!」という方、いきなり「記事を書け!」なんて言われませんので、ぜひ広報情報化委員会にご参加いただき、取材にご同行ください。ご参加ご希望の方はぜひ事務局までお問い合わせください!

一社新潟県中小企業家同友会 事務局 高橋拓夢 記